


第48回全国特別支援教育センター協議会研究協議会（愛知県大会）  
第2分科会（研修）



HOKKAIDO  
BOARD OF  
EDUCATION




## 学校における人材育成を支える「特別支援学校における 経験の浅い教員の資質能力の育成に向けた研究」の取組

令和6年(2024年)11月1日(金)  
北海道立特別支援教育センター  
教育課主査(聴覚・言語障がい教育室長) 深 町 友 祐

1

## 内容

- 1 研究の背景と研究テーマ設定の理由
- 2 研究の目的及び方法・内容
- 3 プログラムの内容・構成
- 4 プログラムの修正及び改善に向けた研究協力校との取組の状況
- 5 今後の取組に向けて

2

# 1 研究の背景と研究テーマ設定の理由

3

## 研究の背景①

### 国及び本道の動向

教師に共通的に求められる資質能力の柱

- ①教職に必要な素養
- ②学習指導
- ③生徒指導
- ④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- ⑤ICTや情報・教育データの利活用

### 「北海道における教員育成指標」の改訂

- 「教員の学びの姿」、「教員育成の考え方」の明確化
- 「教師に共通的に求められる資質能力」「本道の教員として特に重視する資質能力」の明確化
  - ・ 国の指針改正を踏まえた「キーとなる資質能力」の改訂
  - ・ 本道の教員として、特に重視する資質能力の明確化  
→ 「教育的愛情」を最上位で示す。

「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」  
文部科学省（令和4年8月改正）  
「北海道における『教員育成指標』」北海道教育委員会（令和5年3月改訂）

4

## 研究の背景②

### ○ 特別支援学校教員に求められること

- ・ 特別支援教育の知見や経験の蓄積
- ・ 全ての教師に共通して求められる基本的な知識技能を上回る専門性

現職研修の効果的な充実に向けた組織的対応

「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議 報告」文部科学省（令和4年3月）

### ○ 本道の特別支援学校における取組の工夫

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| ・ 教員の6割が初任段階    | ・ 校長による教育課程に関する基本研修の実施 |
| ・ メンター研修の実施     |                        |
| ・ 自立活動を中心に据えた研修 | ・ 外部講師（当センター、SC等）の活用   |

5

5

## 研究テーマ設定の理由

### ○ 特別支援教育を担う教員の育成を支える

#### 各道立特別支援学校

- ・ 特別支援教育を担う教員の育成
- ・ 初任段階教員、経験の浅い教員の学びの保障
- ・ 校内研修の質の向上



#### 特別支援教育センター

学校と連携・協力し、特別支援教育を担う経験の浅い教員の研修を充実させ、学びを深める。

本道における特別支援教育の質の向上

6

6

## 2 研究の目的及び方法・内容

7

7

## (1) 1年次の取組

### ア 目的

- ・ プログラム（試案）の作成

### イ 方法・内容

- (ア) 道立特別支援学校（初任段階教員1、2年次の在籍校）へのアンケート調査
- (イ) プログラムの試作、研究協力校におけるプログラムの試行的活用及び意見聴取
- (ウ) プログラム（試案）の作成

8

8

## (2) 2年次の取組

### ア 目的

- ・プログラムの改善・更新及びプログラムを活用した取組の普及

### イ 方法・内容

- (7) 研究協力校におけるプログラムを活用した学校計画研修の実施
- (4) プログラムの修正点及び改善点についての特センと協力校間での協議・検討
- (9) プログラムの修正・更新及び活用例の作成

9

9

## 3 プログラムの内容・構成

10

10

## (1) プログラムの内容

### ア 構成

#### 〔セクションⅠ〕基礎基本の理解度アップ

I-1	障がいの理解～「障がい」と環境から捉える～
I-2	知的障がいの特性と基本的な対応
I-3	実態把握
I-4	自立活動
I-5	個別の指導計画
I-6	個別の教育支援計画
I-7	教員間の連携
I-8	保護者への対応

#### 〔セクションⅡ〕授業カレレベルアップ

II-1	授業づくりの基本 ～1単位時間の授業の目標の明確化～
II-2	単元の指導計画
II-3	学習評価 ～評価規準の設定～
II-4	学習指導案の作成
II-5	主体的・対話的で深い学び
II-6	個別最適な学びと協働的な学び

各コマは30～40分間程度で実施

11

11

### イ 「プログラムの特徴と活用の仕方」①

#### プログラムの特徴と活用の仕方

(1) 各科目の授業内で担任教員兼主担任として履修に活用！

- ・各コマは30～40分間の授業の中で実施し、授業の導入・展開・まとめのいずれかに活用可能。
- ・各コマは30～40分間の授業の中で実施し、授業の導入・展開・まとめのいずれかに活用可能。

(2) 研修資料（スライド）とその解説を活用して研修を実施可能！

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

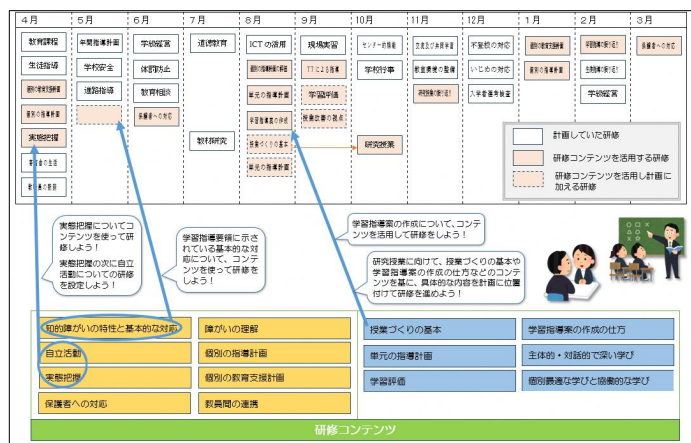
※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

※ 研修資料は、研修資料として活用可能。

12

## イ 「プログラムの特徴と活用の仕方」 ②



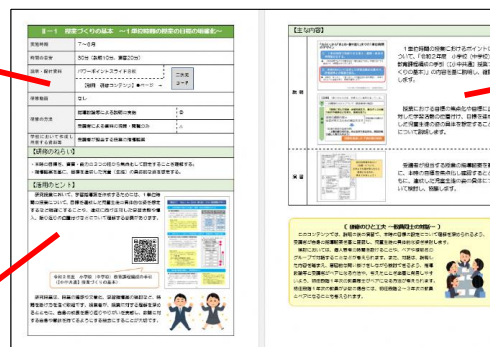
13

## ウ 「研修資料の解説」

パワーポイントの枚数や時間の目安

研修のねらいや活用のヒント

コンテンツの主な内容



- 指導教諭が、内容を焦点化して研修を実施できるよう、研修のねらいを明記
- 研修のねらいや内容を踏まえて、初任段階教員に質問をしたり対話を通じた演習を行ったりできるよう、活用のヒントや主な内容を掲載

14

## 4 プログラムの修正及び改善に向けた研究協力校との取組の状況

15

## 取組の様子

### (ア) 研究協力校におけるプログラムを活用した学校計画研修の実施

#### 研究協力校

- ・ 北海道余市養護学校しりべし学園分校
- ・ 北海道美唄養護学校

訪問又はZoomによる遠隔で実施



16

## 取組の様子

### (イ) プログラムの修正点及び改善点についての特センと協力校間での協議・検討

#### 【研究協力校から寄せられた主な感想・意見等】

- 指導教諭から
  - ・伝えるべき基本的なことが整理されているので、短い時間で説明することができた。
  - ・資料に説明文が記載されていて、内容が事前にも事後にも確認することができた。
  - ・設定していた研修の時間が超過してしまうため、演習を含めた時間を調整する必要がある。
- 初任段階教員から
  - ・説明文が記載されているので、要点を読み返して理解することができた。
  - ・基本的な知識を学んでから、他の教員と意見交換することで学びを深めることができた。

17

## 5 今後の取組に向けて

18

### これまでの取組から

- 効率的且つ内容や質の深まりを持たせた研修の実施につながっていると実感

プログラムの普及に向けた取組の推進

19

### 北海道立特別支援教育センターからのご案内

**Webページ**



**公式X**



**YouTubeチャンネル**



**令和6年9月開始**

北海道立特別支援教育センター  
**Instagram**  
開設のお知らせ

北海道立特別支援教育センターのInstagram（インスタグラム）公式アカウントの運営を開始いたしました。  
ホームページ公式X（旧Twitter）、特別支援教育YouTubeチャンネルと連携しながら、利用者の皆様に特別支援教育に関する最新情報を発信いたします。

登録はこちらから



tokucen\_hokkaido

フォローや「いいね！」など、よろしくをお願いします。

北海道立特別支援教育センター  
〒064-0944 札幌市中央区南西町2丁目1番1号  
011-612-6328 tokukyo.12@pref.hokkaido.lg.jp



**TOKUCEN\_HOKKAIDO**

フォローやいいね！  
をお願いします。

20